

令和元年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第6号 令和元年7月17日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

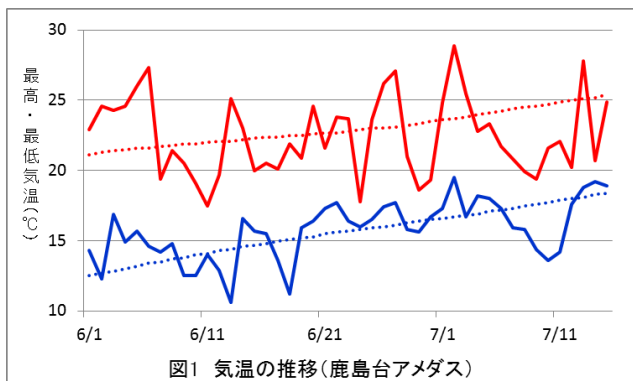


表1 月別の気象データ(鹿島台アメダス)

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	今年	平年差	今年	平年比	今年	平年比
6月	18.4	0.3	179.5	145%	155.2	110%
7月 第1半旬	21.1	1.2	28.0	93%	24.9	130%
第2半旬	17.9	-2.6	0.5	2%	3.3	18%
第3半旬	20.1	-1.0	31.0	102%	16.0	88%

2. 管内生育調査ほの生育概況

表2 調査結果(移植栽培)

調査地点	品種	栽植密度(株/㎡)	区分	田植日	7月1日調査結果				7月10日調査結果				幼穂長(mm)	
					草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)	葉色(SPAD値)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)	葉色(SPAD値)		
涌谷(小谷地)	ひとめぼれ	18.7	本年値	5月12日	45.4	554	10.1	46.3	56.6	546	11.0	45.3	0.4	
				前年比・差	1日早い	95%	104%	-0.3	114%	87%	105%	-0.2	103%	0.3
				4ヶ年平均比・差	±0日	96%	99%	0.1	108%	90%	96%	-0.1	108%	-1.3
田尻(桜田高野)	ひとめぼれ	15.7	本年値	5月12日	46.7	480	10.4	46.8	58.9	471	11.2	45.8	0.4	
				前年比・差	1日早い	90%	87%	0.3	102%	90%	95%	0.2	104%	0.3
				2ヶ年平均比・差	1日早い	101%	99%	0.35	102%	91%	92%	0.0	105%	-0.1
鹿島台(木間塚)	ササニシキ	17.3	本年値	5月14日	50.4	744	11.3	41	59.2	704	12.1	38.6	1.0	
				前年比・差	2日早い	100%	114%	1.2	94%	94%	121%	1.0	92%	0.1
				平年比・差	1日早い	98%	116%	1.3	97%	96%	110%	1.0	107%	-0.9
鹿島台(木間塚)	だて正夢	21.2	本年値	5月13日	55.4	594	10.9	49.9	66.7	581	11.6	45.7	0.0	
				前年比・差	1日遅い	99%	132%	0.4	111%	96%	156%	0.3	104%	-1.2
				2ヶ年平均比・差	1日遅い	113%	123%	1.3	113%	103%	125%	0.9	109%	-1.2
南郷(和多田沼)	金のいぶき	16.3	本年値	5月3日	51.2	632	10.3	44.8	61.5	551	11.2	40.8	0.4	

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

※金のいぶきは、調査1年目のため前年値・平年値なし。

表3 調査結果(直播栽培)

調査地点	品種	栽培様式	播種日	播種量(kg/10a)	7月1日調査結果				7月10日調査結果			
					草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)	葉色(SPAD値)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)	葉色(SPAD値)
小牛田(荻埜)	萌えみのり	鉄コーティング湛水直播	5月13日	3.7	35.8	233.1	7.4	46.1	44.9	434.3	8.7	45.8

※直播萌えみのりは、調査1年目のため前年値・平年値なし。

草丈：ひとめぼれ、ササニシキは平年より短い

茎数：ひとめぼれは平年より少ない

葉数：ひとめぼれは平年並

葉色：平年より濃い

幼穂長：田尻ひとめぼれ以外は平年より短い

3. 今後の管理

(1) 生育ステージ

表4 生育ステージの予測値（7月16日現在）

（参考）幼穂長と生育ステージ出穂前日数

移植日	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
5月1日	7/1～7/4	7/11～7/14	8/1～8/4
5月5日	7/3～7/7	7/13～7/17	8/3～8/6
5月10日	7/5～7/10	7/15～7/20	8/5～8/7
5月15日	7/8～7/12	7/18～7/22	8/6～8/8
5月20日	7/12～7/16	7/22～7/26	8/8～8/11

＜幼穂長と稲の生育＞

幼穂長 (mm)	生育ステージ	外形	出穂前日数
1	幼穂形成期	止葉抽出	25
2			20
8～15			18
30	減数分裂期		15
80			12
120			10
195		穂ばらみ始め	6
205			4
220			2～1
220			0

※主稈葉齢予測モデル（普及に移す技術第80号）を用いた予測値。移植時葉齢を2.5葉～3.5葉として予測。平均気温は7月15日までは鹿島台アメダスの実測値、7月16日以降は鹿島台アメダスの平年値。

今後の天候次第では、予測が変動する可能性もあるので、幼穂長を確認して生育ステージを把握しましょう。

(2) 水管理 出穂前までは間断かん水が基本

※幼穂形成期から減数分裂期にかけて日平均気温20℃以下、または日最低気温17℃以下が続く場合は、できる限りの深水管理を行いましょう。

(3) 追肥

穂揃期の葉色を維持するため、表5を参考に基本どおりの追肥を行いましょう。

表5 幼穂形成期および減数分裂期の生育量の目安と追肥量

品種	幼穂形成期(幼穂長1～2mm)				減数分裂期(幼穂長3～12cm)			
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量 (窒素成分) (kg/10a)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量 (窒素成分) (kg/10a)
ひとめぼれ	56～59	470～530	37～39	1.0	66～69	450～500	35～37	1.0
まなむすめ	65～70	580～600	35～37	2.0	-	500～550	36～38	-
ササニシキ	62～68	720～760	34～36	-	-	550～580	32～34	1.0～1.5
つや姫	70～75	470～500	35～37	2.0	-	-	-	-
だて正夢	64～70	390～460	40～42	-	76～82	380～420	37～39	2.0
金のいぶき	65～70	570～620	33～35	1.0	80～85	490～540	30～32	1.0

(4) 病虫害防除（発生量などの情報は、宮城県病虫害防除所発生予察情報（7/5発表）より）

1) いもち病 発生時期：やや早い（全般発生期7月第3半旬）、発生量：平年並

箱施用剤や予防粒剤の効果が低下してくる時期です。ほ場をよく観察し、葉いもちの発生が確認された場合は、直ちに茎葉散布剤で防除しましょう。特に、穂いもちの重要な伝染源となる上位葉での発生には十分注意しましょう。

穂いもちの予防粒剤による防除は、出穂期20～10日前に、茎葉散布による防除は、1回目は出穂直前、2回目は穂揃期に行いましょう。

2) 斑点米カメムシ類 発生時期：やや遅い（7月第5半旬），発生量：平年並

【発生源の管理】

水田周辺の牧草地等の草刈りは7月中旬に行いましょう。

【水田の管理】

水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前までに行いましょう。

【水田の薬剤防除】

- ①基本の防除体系：1回目は穂揃期，2回目は穂揃期の7～10日後に実施しましょう。
- ②イヌホタルイ発生水田の場合：1回目の防除時期を早めましょう。1回目は出穂始～穂揃期に，2回目は穂揃期の7～10日後に実施しましょう。



アカスジカスミカメの成虫

4. 今後の気象

仙台管区气象台発表

